

(公財) 諏訪郷友会 平成27年度事業報告

I 事業の状況

<公益事業>

1 学生寮「長善館」の運営

4月	新入館生14名が入館し、27年度期首の在館生41名。
5月	防災訓練実施。
9月	「長善館営繕中長期見通し及び補修工事積立金収支計画」を策定。常務会での協議を経て、第14回理事会で承認。
1月～ 3月	卒館生7名・中途退館生2名。 入館面接実施し9名に入館許可。大学院進学等による再入館生2名。28年度期首の在館生41名。

2 館生と維持会員の研修交流のための会議等の開催

6月～ 2月	「長善館オープンセミナー」第38回～40回を開催。6月「人間と汗」（五味常明氏）、11月「プーチンのやり口手口から見た世界戦略」（小林和男氏）、2月「イチョウの不思議」（長田敏行氏）
8月	「夏季郷里大会」を開催。（於：「ゆうむ25」）参加者は会員及び館生保護者他42名・館生5名、片野歩氏による講演会「日本の水産業は復活できる」を実施。
10月	「秋季大会」と館生主催の「長善館記念祭」を合同開催。（於：長善館）参加者は会員及び館生保護者他31名・館生32名。

3 会報等の発行

8月	「諏訪郷友会ニュース 2015年夏・復刊第28号」刊行。
3月	「諏訪郷友会ニュース 2016年冬・復刊第29号」刊行。

<収益事業>

1 長善館駐車場の経営

前年に続き概ね順調に推移し、27年度売上高は724万円で3年連続の増収となった。

2 太陽光発電による売電

事業開始2年目。天候の影響か発電量は前年比微減。より売電単価の高い売電先への変更。

<法人運営>

1 財政状況

収支概況は、収入に育英事業協力金の大口寄付や法人税の還付（25年度の太陽光発電装置設置事業寄付金の収益控除の更正申告が認められたため）が寄与し、前年比200万円増となった。しかし支出も光熱水料費の微減や法人税の大幅減の一方、維持管理費や委託業務費等の大幅増があり、前年比200万円の増となった。更に「補修工事積立金計画」に基づく200万円の大規模修繕積立の実施により、当期収支は-150万円となった。

上記更正申告に伴い、25年度に繰越欠損金1,200万円が認められたので、今後数年間は法人税負担が軽減される。

収支相償計算において、借入金の元金返済分を収入超過額解消に充てることを申請し、26年度に遡って適用することが認められた。